

3年1組（ ）番
 氏名（ ）

3学年 社会 休校中の課題 15 小平作成

1 NHK for School のホームページをひらき、番組名「10min.ボックス」の中から



「江戸時代の文化」を視聴する。(10 分間)

以下の URL をクリックしよう。

https://www.nhk.or.jp/syakai/10min_nihonshi/?das_id=D0005120311_00000

2 視聴した後、教科書 p.124-p.125「上方で栄えた町人の元禄文化」を声に出して読む。
 さらに、教科書 p.130-p.133「江戸の庶民が担った化政文化」を読む。

3 次の語句を使い、江戸時代の文化についてまとめた以下の表を完成させなさい。

語句

化政文化	元禄文化	江戸	京都・大阪
近松門左衛門	歌川広重	葛飾北斎	俵屋宗達

表【江戸時代の文化】

17 世紀末から 18 世紀初め	19 世紀初めの文化・文政期	
	文化の名称	
	文化の中心地	
町人	主な担い手	町人・庶民
	活躍した人物	

4 NHK 動画に出てきた俵屋宗達の『風神雷神図屏風』は教科書 p.()に、杉田玄白と『解体新書』は教科書 p.()に登場します。教科書から資料を探してページを書きなさい。

答え合わせをしましょう。

解答

3

表【江戸時代の文化】

17世紀末から18世紀初め		19世紀初めの文化・文政期
元禄文化	文化の名称	化政文化
京都・大阪	文化の中心地	江戸
町人	主な担い手	町人・庶民
近松門左衛門 俵屋宗達	活躍した人物	歌川広重 葛飾北斎

4 NHK 動画に出てきた俵屋宗達の『風神雷神図屏風』は教科書 p.(124 上)に、杉田玄白と『解体新書』は教科書 p.(132 本文の左)に登場します。資料付きで掲載されていますので、見直してみてください。

江戸時代は幕藩体制や鎖国のため、人々にとっては長く安定した時代が続きました。

社会の安定⇒ゆとりが生まれる⇒余裕ができる⇒ということは、文化が発展する。

江戸時代前半は、経済力や技術力をもつ上方(京都や大阪)の町人が主な担い手になりました。そのため、町人の様子が小説(浮世草子)としてえがかれたり(井原西鶴)、町人が人形浄瑠璃や歌舞伎を楽しんだりするようになります。(近松門左衛門)

江戸時代後半には、裕福な町人だけでなく、庶民も娯楽を楽しめるようになりました。歌舞伎や相撲や落語も楽しめるようになります。余裕が生まれたからこそ、旅行も楽しめるようになり、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』という旅行にまつわる本が人気になり、浮世絵で『東海道五十三次』(歌川広重)や『富嶽三十六景』(葛飾北斎)などがさかんに描かれたのです。

都立入試では、時代ごとの代表的な文化作品の資料を使った出題可能性もあります。

活躍した人物を書き出してみたり、教科書に登場する資料などをあらためて見直したりしてみよう。